



子供の未来が幸せでありますように

園長 石橋俊哉さん

子供達の“生きる力”を育ててあげたいと思っています。そこで取り組んだのが、当園の特徴である“森のようちえん”活動です。“森のようちえん”とは、自然の中での体験を通して子供達自身で、豊かな感性や、自分で考え行動する能力を育んでもらうという活動です。益田市は自然が豊富ですから、週2回海山川に出かけて、自然の中で活動をしています。遊び道具も自然の中にあるもののみ。雨が降れば降ったなりの活動をしますし、暑ければ暑いなりの遊びをします。季節や天気によって子供達自身に考えてもらいながら活動してもらいます。そうすることで、次第に自然を活用した遊び方や、リスク管理など、自分で判断してどんどん行動を起こしていくようになります。こうした経験が子供達の生きる力、たくましさや優しさ、思いやりを育んでくれるのだと思います。保護者の方々からも「子供がすごく変わった!」と、たくさんの驚きと喜びの声を頂いています。当然リスク管理など大変な部分も多いですが、子供達の笑顔を見ると力が湧いてきます。卒園する時には、「この子はこんなにも成長したんだな」と思い出を振り返り、目頭が熱くなってしまう。将来、園児が大人になって家庭を持った時に「益田のまどころナーサリースクールはよかったな。あそこで自分の子供を育てたい」と思ってもらいたいです。そんな次の世代に繋がっていくような保育のカタチが、私たちの目指す先です。



Writer : Izumo Hiroto

no 15

自然の中で育む
生きぬく力

madokoro nursery school

まどころナーサリースクール

豊かな自然の中で子供達をのびのび育てたい。四季の変化や生き物との触れ合いを通して、好奇心や創造力が溢れる子供を育てたい。そんな保護者の願いを叶えるために、自然の中で取り組む幼児教育や保育の活動が全国で広がりを見せているようです。益田市にある「認定こども園まどころナーサリースクール」もその一つ。子供達をたくましく、優しく、思いやりのある人間に育てたいという想いから1979年に開園しました。ここでは週に2回、スクールバスに乗り込んで、自然の中へ出かけていきます。その行き先や活動はさまざま、自然の中で子供達の生きる力をしっかり、ゆっくり、大きく育てています。大切なのは、大人の想いを押し付けずに、子供が持っている感性を信じて、それを引き出すこと。これからの社会を生きる子どもたちが、幸せな未来を歩めるような、今の時代に必要な幼児教育がここにはありました。



ハチや蛇がいる場合の対処法を出かける前に確認します。子供自身にリスクマネジメントを身につけさせるのも教育の一つ。



スクールバスで到着したのは、想像以上の山間部。ここには、子どもの豊かな体験活動のための環境が整っています。

Interview

社員さんインタビュー

保育士 大谷さん



私は自分が保育園に通っていた時に優しくしてくれた先生のような、素敵な人になりたいと思って保育士の道を選びました。最初は別の保育園に勤めていましたが、まどころナーサリースクールの活動内容に惹かれ、ここならば目標とする姿に近づけると感じて転職しました。ここの子供達は森のようちえん活動を通して、季節の移り変わりを肌で感じたり、自然の中から自分たちで食材を収穫して調理したりと、他では経験できない日々を送っています。そういった経験が子供達をたくましく成長させてくれています。日々その姿を隣で観られるのが何よりも楽しいです。楽しさの裏側では怪我などがないよう、気を張り続ける毎日ですが、子供達から「楽しかった!」「また来たいね!」と楽しんでいる声を聞くと、とても嬉しく、もっと頑張ろうと思えます。子供達のために何が出来るか、一緒に悩んで、そして子供の成長の喜びを分かち合える、そんな仲間と一緒に働きたいですね。

Company Date

業種：教育
設立：1979年
※認定こども園としては2015年
従業員数：18名
代表：石橋俊哉
場所：益田市中島町123番地2
<http://www.madokoro.com/>



◀MACHI TERASUのWEBページ

Q. 新入社員へ伝えたい言葉は？



私は職員全員に一流の保育士になってほしいと願っています。ですから常に子供のこと、保育のことを考え、真剣に悩み、向上心を持って仕事に取り組める方ならば素敵で一流の保育士になれるように、責任を持ってサポートして参ります。